

平成 28 年度 使用教科用図書の採択について（前期課程）

奈良女子大学附属中等教育学校

教科	採択教科書	採択の理由（内容、資料、表記・表現等）
国語	光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習」のページに、学習を振り返る「次へつなげよう」やポイントを整理した「学習の窓」がある。</li> <li>・各学年に「読むこと」の領域で古典教材を掲載するなど、伝統的な言語文化と国語の特質に関する内容を含んでいる。</li> <li>・すべての学年で情報について考える教材を設定し、情報の収集、活用、発信などメディアリテラシーに関する学習を含んでいる。</li> </ul>
書写	光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材ごとに「目標」「学習の窓」「学習を振り返る」などの学習の流れを示している。</li> <li>・生徒に興味を持たせ、関心を高めるための「コラム」を掲載している。</li> </ul>
社会（地理）	帝国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界や日本の諸地域に関する地理的認識を深めさせるため、因果関係がわかる記述とそれを補足する資料を提示している。</li> <li>・「世界のさまざまな地域の調査」で統計の活用方法などについて習得できるように構成されており、「身近な地域調査」では地形図を読み取る技能の習得方法を示している。</li> <li>・学習内容を文章で説明する学習課題を設定している。</li> </ul>
社会（歴史）	日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の最初に学習課題を、末に「学習の確認と活用」を設定し、習得知識の確認と活用を促進している。</li> <li>・各時代において日本を取り巻く国際関係や世界との文化交流についての記述がなされている。</li> <li>・学習内容を深める「歴史を掘り下げる」「先人に学ぶ」などのコラムを設けているとともに、豊富な図版を使用している。</li> </ul>
社会（公民）	日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごとに学習課題を提示し、学習内容を振り返るための「学習の確認と活用」を設定している。</li> <li>・民主政治の意義、人権の尊重に関する学習内容が充実しており、豊富な資料が用いられている。</li> <li>・学習内容の理解を深めるために「公民プラス α」のページを設けるなどの工夫がなされている。</li> </ul>
地図	帝国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本図などのページに「やってみよう」と表記して、学習課題を提示している。</li> <li>・「日本の災害と防災」について資料図の中に特設ページを設けるなど、今日的課題に対応している。</li> </ul>
数学	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・側注に学習のポイントや身につけたい数学的な見方や考え方を示している。</li> <li>・数学にまつわる興味深い話題を節ごとに設けており、学習に対す</li> </ul>

		<p>る興味と意欲が持続できるような構成がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学をさまざまな場面に利用する活動の良さを感じながら学習できるように工夫されている。</li> </ul>
理科	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「用語の確認」など、基礎・基本の定着をはかる工夫が各章ごとになされている。</li> <li>・科学的な思考力を育成するために、観察・実験の目的や実験結果を整理する視点や考察する視点を示している。</li> <li>・「話し合ってみよう」の欄を設けるなど、生徒の意見交換を促す構成がとられている。</li> </ul>
音楽	教芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年とも前半に表現教材、次に鑑賞教材を配置し、双方を関連させながら指導できるようになっている。</li> <li>・幅広い分野から教材を取り上げ、日本のさまざまな伝統音楽を学べるように工夫されている。</li> </ul>
美術	日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞の題材の主文を中心として、話し合いなど言語活動の充実を図る工夫がなされている。</li> <li>・コンピュータなどデジタル機器を活用した表現や鑑賞活動を掲載している。</li> </ul>
保健体育	大修館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目の最後に、考える、話し合う、調べる、まとめる、発表するなどの作業課題があり、各単元の終わりに、学んだことを振り返る課題が示されている。</li> <li>・応急手当の項目など具体的でわかりやすい説明がなされている。</li> </ul>
技術	東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的・体験的な課題が示されているとともに、物作りをしながら問題解決能力が育成できるように工夫されている。</li> <li>・各編の最後に、まとめの課題レポートを入れ、言語能力の育成に配慮している。</li> </ul>
家庭	教図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各章や各節の導入部に基礎的基本的な知識・技術の習得ができるよう、また最後に学習の到達度を確認できるよう構成されている。</li> <li>・食育の充実、伝統的行事や郷土料理をわかりやすく紹介、生活と環境問題との関わりを取り上げることなどの点で配慮されている。</li> </ul>
外国語（英語）	三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容をまとめ、知識の整理等を行うまとめとして、発表を行うコーナーが設けられている。</li> <li>・学習内容を繰り返し練習することを通じて、習得した基礎的な内容の活用定着を図る構成がとられている。</li> <li>・言語活動の充実を図る工夫がなされており、話す活動は発表型と会話型にわけられてそれが明示されている。</li> </ul>
道徳	日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に「いじめ」問題への取り組みに力を入れるという編集の意図が明確であり、内容の質・量ともに他社と比較して優位であるところが、本校前期課程の学級経営方針と合致した。</li> <li>・教材の配列や選定において、常に教科書を用いる生徒の目線で行</li> </ul>

われており、読みやすい。

・地域別教材に奈良市が選定されており（1年、3年）、本校生徒にとって身近に感じる教材が用意されている。